

平成 1 6 年度事業報告書



学校法人鳥取環境大学

平成 1 7 年 5 月

1 法人の概要

(1) 設置する学校・学部・学科等

設置学校名	学部・研究科・課程名	学科・専攻・附属施設等名
鳥取環境大学	環境情報学部	環境政策学科 環境デザイン学科 情報システム学科

(2) 当該学校学部学科等の入学定員、学生数の状況

学部名	学科名	定員	在籍者（平成17年3月1日現在）				
			1年生	2年生	3年生	4年生	合計
環境情報学部	環境政策学科	166	190	182	198	234	804
	環境デザイン学科	79	61	72	84	100	317
	情報システム学科	79	59	74	81	88	302
計		324	310	328	363	422	1,423

- 1 定員には編入学定員（各学科2人）を含まない。
- 2 4年生の在籍者数には編入学者（デザイン4人、システム1人）を含む。
- 3 3年生の在籍者数には編入学者（政策1人）を含む。

(3) 役員・教職員の概要（平成17年3月1日現在）

ア 役員 (人)

理事長	副理事長	常務理事	理事	理事計	監事
1	1	1	9	12	2

イ 教員 (人)

学長	1				
副学長	2				
環境情報学部	教授	助教授	講師	助手	計
環境政策学科	9 <small>学長含む</small>	7	2	0	18
環境デザイン学科	9 <small>副学長含む</small>	2	0	2	13
情報システム学科	11 <small>副学長含む</small>	4	4	3	22
計	29	13	6	5	53

情報システム学科には英語担当教員5人を含む

ウ 事務局職員 (人)

事務局長	審議役	次長	総務課	入試広報課	学務課	図書情報課	合計
1	1	1	8(2)	8	7(5)	5(2)	31(9)

()は嘱託職員で別数

2 事業の内容

(1) 概要

完成年度を迎えた鳥取環境大学として、教育研究及び入学試験などの業務を実施するとともに、開かれた大学として地域交流及び施設開放事業などを実施した。

(2) 法人運営管理

ア 理事会の開催

区 分	開催時期	議 案 等
第16回	5 / 26 (水)	15年度事業報告及び収支決算、16年度予算変更、大学院設置認可申請に伴う寄附行為変更、大学院学則の制定等
第17回	10 / 5 (火)	大学近況、私学法一部改正についての報告等
第18回	12 / 13 (月)	16年度予算変更、理事・監事・評議員の選任等
第19回	1 / 14 (金)	理事長・副理事長・常務理事・評議員の選任、学長の選考等
第20回	3 / 24 (木)	17年度事業計画及び収支予算、16年度予算変更、諸規程の改正・制定、学則の一部改正、理事・評議員・副学長・センター長・学科長・名誉学長・顧問の選任等

イ 評議員会の開催

区 分	開催時期	議 案 等
第14回	5 / 19 (水)	15年度事業報告及び収支決算、16年度予算変更、大学院設置に伴う寄附行為変更等
第15回	10 / 4 (月)	大学近況、私学法一部改正についての報告等
第16回	12 / 9 (木)	16年度予算変更、理事・評議員の選任等
第17回	3 / 23 (水)	17年度事業計画及び収支予算、16年度予算変更、理事の選任等

ウ 業務運営理事会の開催

日常的な管理運営事項等を審議するために、業務運営理事会を計9回開催し、次に掲げる事項について報告・確認を行った。

- ・例月の業務の執行状況及び月次決算書等の報告
- ・学生の活動状況及び異動（休退学など）状況
- ・その他大学行事の実施状況など必要と認める事項

(3) 教育研究

ア 授業日程等

- 4月 4日(日) 入学式
- 2日(土)～6日(火) 前期ガイダンス(2年～4年生)
- 5日(月)～7日(水) フレッシュアップセミナー(1年生)
- 4月 8日(木) 前期授業開始
- 8月 2日(月) 前期授業・定期試験終了
- 9月28日(火) 後期ガイダンス
- 29日(水) 後期授業開始
- 2月 3日(木) 後期授業・定期試験終了
- 3月21日(月) 卒業式

イ 科目等履修生及び聴講生の受入

一般の方に修学の間を提供し、環境問題や本学に対する理解を促進した。

前期：科目等履修生 2名/延6科目

聴講生 4名/延7科目

後期：科目等履修生 1名/2科目

ウ 高校との交流・連携

県立高等学校との交流連携を図るため、教職員の相互派遣による授業を実施した。

派遣：7校、12名

受入：1科目、1名

エ 教育懇談会の開催

学業成績、学生生活並びに就職活動の状況について保護者と教職員が懇談し、学生生活の充実や進路選択の参考とした。

<計4回開催>

8月21日(本学)01年度入学者参加者	72名(内個人懇談参加者64名)
02年度入学者	59名(56名)
8月28日(米子)02年度入学者	29名(25名)
9月5日(大阪)02年度入学者	21名(14名)
10月10日(本学)03年度入学者	51名(36名)
04年度入学者	57名(36名)

オ 研究

(ア) 学内研究費(個人研究費、学長配分研究費)による研究

当大学専任教員による個人又は共同研究を実施した。

個人研究費(教授・助教授・講師:70万円、助手:40万円)

学長配分研究費(10テーマ採択、総研究費3,950千円)

(イ) 学外研究費による研究

民間企業等との共同研究・受託研究及び補助金研究(鳥取県環境学術研究費、科学研究費補助金)を実施した。(共同研究、受託研究の()内は16年度契約ベース)

共同研究(2件、600千円)

税務監査知識のパッケージ化とASPサービス形態での提供方法の開発
JGN 利用に伴う共同研究

受託研究(9件、11,698千円)

各種外装材のLCA調査研究

安全運転支援システムの試作と実験的評価

船舶を用いた海洋上大気エアロゾル観測(その5)

アモン水による下水処理場の汚泥削減に関する調査研究

糸ハンダ・ペーストハンダ回収方法の開発

男女共同参画推進施策を展開する基盤としての基礎概念の構築の可能性とそれに基づく今後の施策展開のあり方に関する研究

鳥取情報ハイウェイに関する調査・研究

アモン水CUによる河川汚泥の分解及び浄化能力の効果実証実験

アーシングの効果に関する研究

は県市からの受託研究

鳥取県環境学術研究費補助金(19テーマ採択、補助総額29,696千円)

科学研究費補助金(10件、補助総額24,690千円)

(ウ) 紀要の発行

紀要編集委員会で準備を進めた紀要第3号を2月に発行した。

(退任記念講演:3件、論文:10件)

(エ) 出展事業

以下の展示会へ出展し、本学の研究成果等を広くアピールした。

とっとり産業技術フェア2004 10月15日~17日 鳥取市

エコプロダクツ2004 12月9日~11日 東京都江東区

組合活動新展開交流メッセ 1月26日~27日 鳥取市

(4) 学生生活

ア 奨学金支給、授業料減免

成績が優秀であるにもかかわらず経済的な理由で修学が困難な学生を対象に、奨学金制度及び授業料減免制度に基づき、支給及び減免等の措置を講じた。

(ア) 奨学金

鳥取市鳥取環境大学奨学金

年間給付額：政策学科 50 万円、デザイン学科・システム学科 60 万円

採用実績：各学年とも政策学科 10 名、デザイン学科・システム学科各 5 名

計 80 名

学生支援機構奨学金 383 名

地方公共団体その他の団体の奨学金 61 名

(イ) 授業料減免

学期ごとに授業料の半額を免除 (人)

	前 期	後 期	計
政策学科	16	19	35
デザイン学科	6	13	19
システム学科	2	6	8
計	24	38	62

イ 特待生

対 象 者：一般入試 A 方式及びセンター試験利用入試前期において成績優秀で特待生として選考され入学した者

2 年生 4 名 (政策学科 1 名、デザイン学科 1 名、システム学科 2 名)

1 年生 5 名 (政策学科 2 名、デザイン学科 1 名、システム学科 2 名)

優遇措置：鳥取市鳥取環境大学奨学金の支給と学費 (授業料・実験実習費、施設費) の一部免除の併用により学費負担を全額免除

ウ 学生生活相談

保健室において随時学生生活相談を実施 (年間 延 1,367 件)

校医による健康相談を毎月実施 (メンタルヘルス、スポーツ、一般内科)

(年間 延 91 件)

(5) 大学広報と学生募集

ア 県内・近県ＪＲ駅電照看板の掲示

本学のイメージを県内・近県に浸透させるため、ＪＲ鳥取駅、米子駅、松江駅、岡山駅、鳥取空港に電照看板を設置した。入試、オープンキャンパス等の日程告知にも活用した。

イ 環境論文の募集と環境シンポジウムの実施(10月3日・本学)

高校生を対象として環境問題をテーマにした環境論文の募集を実施し、全国28都道府県の48校から、554件の応募があった。

最優秀賞 1名

優秀賞 2名

佳作 5名

学校賞 4校

環境論文の発表会と授賞式に併せ、広く環境問題に対する意識を高めてもらうことと、本学の環境問題に取り組む姿勢をアピールするために、C.W.ニコル氏による特別講演と環境シンポジウムを開催し、約400名が参加した。

ウ マスコミへの情報提供

今年度の本学関連のイベントや、教員の研究活動、学生の活動等について、73件の情報を各マスコミに対して提供し、そのうち51件の内容が新聞やテレビなどのマスコミに取り上げられた。

エ 各種パンフレットの作成

大学案内(27,000部・受験生向け)

就職アピールのためのパンフレット「ECO」(4回:計30,000部・受験生向け)

総合案内等(4,000部・一般向け)

学報「若葉台レポート」(2回:計8,000部・保護者等向け)

その他、大学院パンフレット等を作成

オ 広報媒体による広報活動

受験雑誌、Web広告、新聞広告、DM等の広報媒体を用いて、受験生に対して本学の魅力・学科の内容、研究活動などをアピールし、学生募集活動を行った。

カ オープンキャンパスの実施(6月13日、8月7・8日、10月3日・本学)

本学の施設見学、学科の模擬授業、大学の概要説明、受験相談などを実施した。

4日間で、受験生、受験生の保護者、高校教員、一般来場者など計874名(うち受験対象者303名)の参加者があった。

キ 高校訪問の実施（主に5月～7月）

県内外の高校に本学の内容を周知するため、延べ510校に対して訪問を行い、主に進路指導担当教員を対象に、本学の説明と本学への出願の依頼を行った。

ク 高校内説明会の実施

主に県内の高校の教員、生徒、保護者に対し、本学の内容をより深く知ってもらうために、高校20校の校内にて説明会を行った（参加者189名）。

ケ 進学相談会への参加

全国各地で行われる進学相談会に本学ブースを出展（54会場、参加者251名）し、本学に興味を持つ来場者（高校生、高校教員、保護者）に本学の魅力をアピールし、学生募集を行った。

コ 本学ホームページの管理

本学のホームページにおいて、本学の内容を詳しく説明し、本学を広く一般に周知するとともに、ホームページを通じて資料請求を受け付けることにより、学生募集を行った。

サ 県内教員対象説明会の実施

県内高等学校の校長、教員を招いて、本学で施設見学会、説明会を行い、本学への進路指導を薦めて頂くよう働きかけを行った。

7月30日（一般高校教員対象） 23校（35名）参加

10月6日（校長対象） 20校（20名）参加

シ 資料請求者への資料提供

本学の資料請求者に対し、本学の各種パンフレットなどの資料送付や各種イベント（オープンキャンパス、進学相談会など）の案内などを行った。また、希望者にはメールマガジンを用いた情報提供も行った。

(6) 入学試験

ア 大学入学試験の実施(9月～3月)

AO入試()、一般公募制推薦入試、指定校推薦入試、一般入試A方式・B方式・C方式、センター試験利用入試(前期、後期)、社会人特別入試、私費外国人留学生入試、3年次編入学試験を実施した。(募集定員：324人、3年次編入募集定員：6人、社会人・留学生：若干名)

受験状況： (単位：人()は編入学)

学科名	定員	志願者	合格者	入学者
環境政策学科	166(2)	360	327	171
環境デザイン学科	79(2)	106(2)	103(2)	58(2)
情報システム学科	79(2)	92(1)	83(1)	48(1)
計	324(6)	558(3)	513(3)	277(3)

イ 大学入試センター試験の実施(1月15、16日)

大学入試センター試験の試験会場となり試験を実施した。鳥取県及び兵庫県の受験対象者の一部(320名)が受験した。

なお、本事業は、本学がセンター試験利用入試を実施するための必須事項である。

ウ 大学院入学試験の実施(12月19日)

平成17年4月開設の大学院 環境情報学研究科・環境情報学専攻(修士課程)の推薦選抜による入学試験を実施した。

なお、当初予定していた一般選抜(2月19日)は志願者が無く実施しなかった。

受験状況： (単位：人)

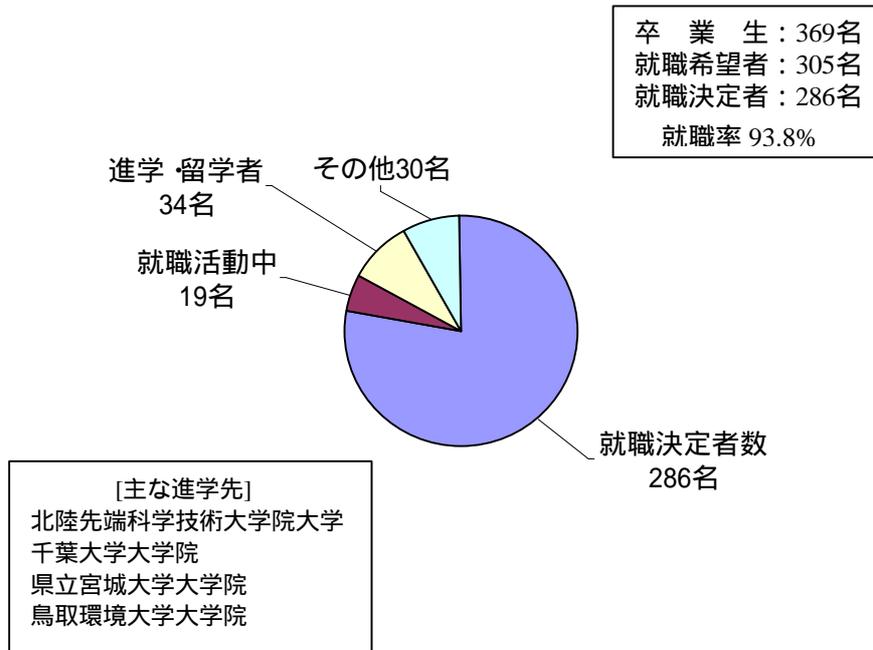
領域名	定員	志願者	合格者	入学者
社会環境学領域	10	8	8	8
環境デザイン領域	5	5	5	5
情報システム領域	5	6	6	6
計	20	19	19	19

(7) 就職・進学等進路支援

ア 就職結果(2005年3月31日現在)

(ア) 進路分布

2004年度卒業生進路分布



(イ) 学科別就職内定状況

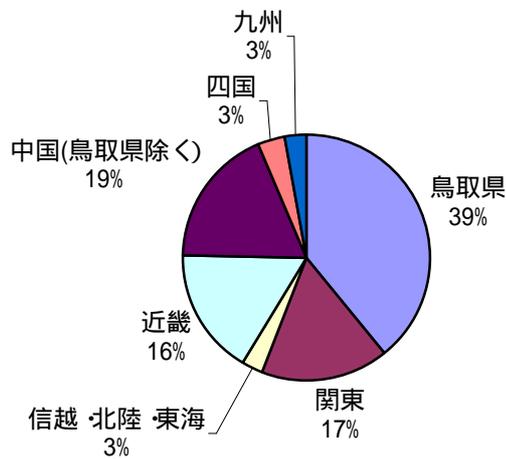
(人)

	環境政策学科			環境デザイン学科			情報システム学科			学部計		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
在籍者	168	66	234	57	43	100	69	20	89	294	129	423
休学者	8	2	10	4	3	7	4	1	5	16	6	22
単位不足者	16	0	16	5	1	6	8	2	10	29	3	32
卒業予定者(A)	144	64	208	48	39	87	57	17	74	249	120	369
就職希望者(B)	127	50	177	37	27	64	48	16	64	212	93	305
進学希望者	9	4	13	5	5	10	8	1	9	22	10	32
留学希望者	0	1	1	0	1	1	0	0	0	0	2	2
その他 1	8	9	17	6	6	12	1	0	1	15	15	30
内定者(C)	116	48	164	35	24	59	47	16	63	198	88	286
内定率(C/B)	91.3%	96.0%	92.7%	94.6%	88.9%	92.2%	97.9%	100.0%	98.4%	93.4%	94.6%	93.8%
就職率(C/A)	80.6%	75.0%	78.8%	72.9%	61.5%	67.8%	82.5%	94.1%	85.1%	79.5%	73.3%	77.5%

1) 宮大工、因州和紙研修生、公務員就職浪人、資格取得など

(ウ) 企業所在地別就職内定状況

内定企業所在地別人数比率

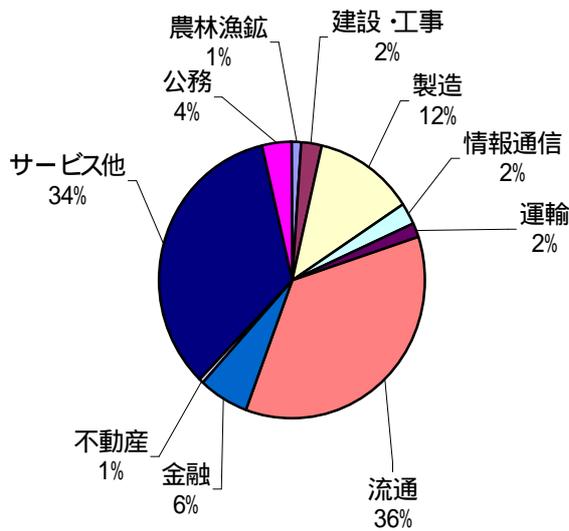


< 内定企業所在地別人数 >	
鳥取県	112名(39.2%)
関東	48名(16.8%)
信越・北陸・東海	8名(2.8%)
近畿	47名(16.4%)
中国(鳥取県除く)	53名(18.5%)
四国	10名(3.5%)
九州	8名(2.8%)
合計	286名(100%)

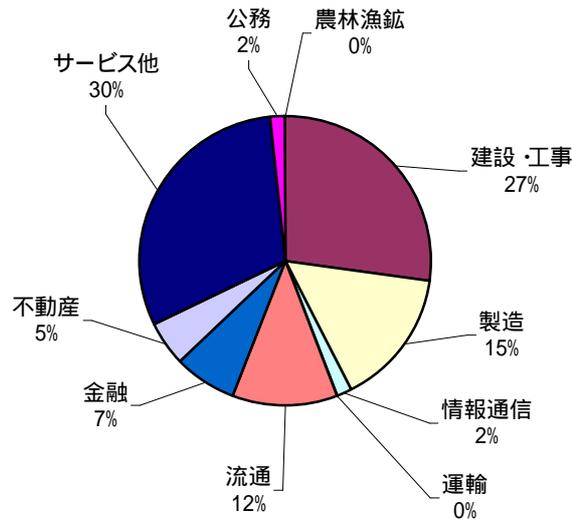
内定者(286名)の内、
鳥取県内高校等卒業生比率
53.5%(153名)

(ウ) 業種別就職内定状況(学科・学部)

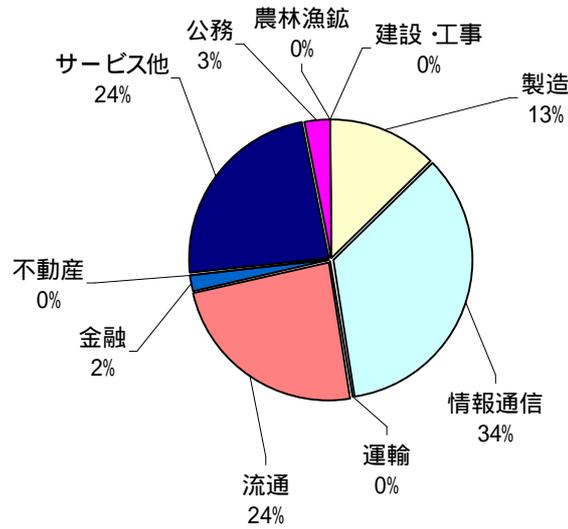
業種別就職先【環境政策学科】



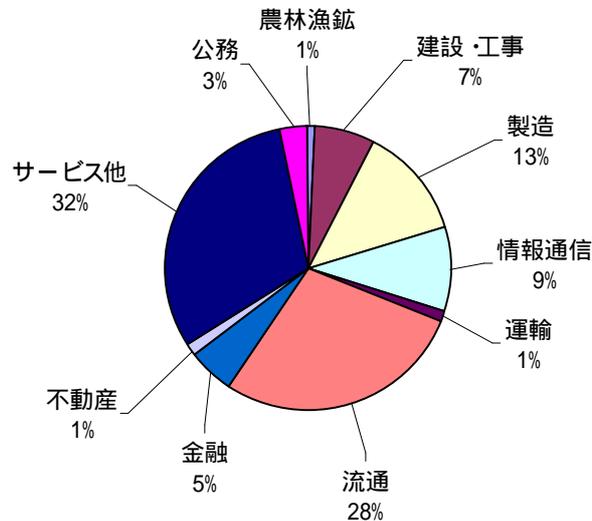
業種別就職先【環境デザイン学科】



業種別就職先【情報システム学科】



業種別就職先【環境情報学部】



イ 就職（進学）支援行事

年月日	曜日	対象	行事	テーマ・内容
2004年				
4月2日	金	2年生	キャリアデザイン講座	2年生のキャリアデザイン
4月2日	金	3年生	キャリアデザイン講座	3年生のキャリアデザイン
4月5日	月	4年生	就職ガイダンス	就職活動の基本の再確認
4月6日	火	1年生	キャリアデザイン講座	新入生のキャリアデザイン
4月15日	木	3年生	R-CAP 事前説明会	R - C A Pを利用した自己発見
4月22日	木	4年生	企業研究会	県内企業中心とした企業セミナー
5月13日	木	3年生	R-CAP 試験	R - C A Pを利用した自己発見
5月20日	木	3年生	就職実践講座	自己分析 自己PR
5月27日	木	4年生	企業研究会	県内企業中心とした企業セミナー
6月3日	木	3年生	就職実践講座	自己PR エントリーシートの書き方
6月10日	木	3年生	R-CAP 事後説明会	R - C A Pを利用した自己発見
6月17日	木	3年生	インターンシップ説明会	インターンシップの意義 希望登録書の書き方
7月15日	木	4年生	就職ガイダンス	県内求人企業紹介 これからの就職活動
7月22日	木	3年生	就職ガイダンス	企業が採用したい人 予備登録票の書き方
7月26日	月	その他	産学連携懇談会	県内企業との研究交流と意見交換
8月3日	火	3年生	インターンシップ事前研修会	マナー研修 諸手続きについて
9月25日	土	3年生	私のしごと館見学会	さまざまな仕事体験研修
9月28日	火	1・2年生	就職ガイダンス【2年生】	筆記対策講座について 就職にむけて
9月28日	火	3年生	就職ガイダンス	就職活動の流れ 本年度の動向
10月21日	木	3年生	就職ガイダンス	就職ナビの使い方 企業の選び方
10月15日	金	その他	関西企業懇談会	関西地方の企業に対する大学紹介
10月～11月		3年生	個人面談	卒業予定者全員に対する個別指導
10月28日	木	3年生	就職ガイダンス	新聞の読み方について
11月4日	木	3年生	業界研究会	各業界の業務内容等の説明
11月11日	木	3年生	就職実践講座	面接対策
11月12日	金	その他	中国企業懇談会	中国地方の企業に対する大学紹介
11月18日	木	3年生	業界研究会	各業界の業務内容等の説明
11月19日	金	その他	関東企業懇談会	関東地方の企業に対する大学紹介
12月2日	木	3年生	就職ガイダンス	履歴書・エントリーシートの書き方
12月9日	木	3年生	大学院ガイダンス	本学大学院について 大学院の受験対策等
12月9日	木	3年生	業界説明会	各業界の業務内容等の説明
12月16日	木	3年生	就職活動報告会	4年生による就職活動報告会
2005年				
1月13日	木	3年生	就職ガイダンス	学内手続き 面接練習スケジュール 手続き書類など（本登録票） スーツの着こなし方他
2月10日	木	3年生	就職ガイダンス	面接対策マナー
2月16日	水	3年生	合同セミナーチャーターバス運行	岡山地区就職フェア参加
2月初～中旬		3年生	面接練習	教職員が面接官となつての模擬面接訓練
2月23・24・25日	水・木・金	3年生	学内企業研究会	県外企業を中心とした企業セミナー
3月7日	月	3年生	合同セミナーチャーターバス運行	関西地区開催就職フェア参加

ウ 進路支援施策

(ア) 就職ガイダンスの開催

3年生対象：15回 2年生対象：1回 新入生対象：1回
12月には4年生による就職活動報告会を開催

(イ) 学内企業研究会の開催

〔2005年3月卒業予定者対象〕

4月22日：17企業参加 5月25日：8企業参加

〔2006年3月卒業予定者対象〕

2月23日・24日・25日：40企業参加

(ウ) 面接練習の実施(2月4日・7日・8日・10日)

〔参加学生〕116名 〔面接官〕教員：12名 職員：16名

(エ) インターンシップの派遣

派遣時期：8月～9月の2週間

派遣先数：59団体

派遣学生数：125名

(オ) 企業懇談会の開催

関西地区〔10月15日・大阪〕：31企業 5団体参加

広島地区〔11月12日・広島〕：12企業参加

関東地区〔11月19日・東京〕：23企業参加

(カ) 業界研究会の開催(11月4日・18日、12月9日)

流通、マスコミ、食品製造、機械製造、住宅メーカー、情報、金融・保険、
公務(鳥取県)の各業界より実務者を招聘し、業務内容等の説明会を実施

(キ) 筆記試験対策講座(早稲田セミナー主催：有料)の実施

申込者数：公務員コース(122コマ)97名

一般企業コース(77コマ)25名

公務員試験直前対策講座(無料)の開催：4月～5月

(ク) その他就職・進路支援策

就職支援チャーターバスの運行(2月16日、3月7日)

借上宿舍の提供(学生負担1泊2,000円 2月～5月)

関東地区2室 関西地区2室

利用件数：関東33件 関西51件

鳥取県人会(関東、東海、関西地区)への参加による広報活動

「わたしのしごと館」(奈良県)での仕事体験(鳥取県地域労使就職支援機構主催)

(9月25日 22名参加)

大学院ガイダンスの開催(12月9日 18名参加)

本学大学院の概要、大学院の受験対策及び大学院での研究について、本学教員より説明。

(8) 環境関連活動

ア ISO14001 関連

外部審査機関(株式会社日本環境認証機構)による2年次定期サーベイランス(1月31日~2月1日)を受審し、総合評価は「向上」であった。

イ 教職員、学生及び学内協力会社の環境に配慮した活動の継続・強化

内部監査員養成

学内啓発活動 灰皿へのマナー張り紙貼付

トイレへのゴミ分別シールの貼付

学生ISO委員会による学生へのISOレクチャー(春・秋)

環境教育効果の学生達成度試験実施

学生への景観通信簿アンケート実施(1~4年生)

構内清掃(春・秋) 紙パック・割り箸・ペットボトルキャップ回収

教員への授業評価ヒアリング等

ウ ISO地域貢献活動

鳥取市街地清掃(2回:学生ISO委員会と学友会の共催)

校内一斉清掃(2回)

鳥取しゃんしゃん祭りのゴミ清掃隊

エコプロダクツ(東京:有明)への出展

ISO相談会(デザイン学科中村教授:1回)

(9) 学外交流事業等の実施

ア 海外の大学との研究交流

<来学者>

10月 スウェーデン・テクニカルパーク・ジャパン(スウェーデン)関係者

12月 清州大学(韓国)学長

<16年度までの提携状況>

締結完了【5大学】 ユニテック工科大学(ニュージーランド、2000・11 締結)

清州大学校理工大学(韓国、2002・2 締結)

パリ ベルビル建築大学(フランス、2002・8 締結)

オーフス建築大学(デンマーク、2003・9 締結)

ロシア極東国立総合大学(ロシア、2003・10 締結)

事前協定【2大学】 吉林大学(中国、2002・8 締結)

江原大学校(韓国、2002・9 締結)

イ 海外英語研修事業

研修先：ユニテック工科大学（ニュージーランド）

期 間：2月16日～3月18日

参加者：15名

単位認定：上級英語（2単位）の単位を認定

ウ 提携大学への短期留学

《実績無し》

エ 大学の地域開放事業

（ア）図書館の開放

平日は午前9時～午後6時まで、土曜日は午前9時～午後3時まで一般に開放した。

また、鳥取県立図書館、鳥取大学との間で図書の相互貸出サービスを継続するとともに、新たに鳥取県商工労働部産業技術センターとの相互利用を締結した。

（イ）公開講座の実施

地域に開かれた大学の実現を図るため、公開講座と環境シンポジウムを実施した。

< 公開講座 >

「多方面から環境を考える 環境が拓く私たちの未来」

7月17日～10月16日（全4回）会場：県立図書館、受講者：150名

「木を見て、森も見よう」

11月5日～19日（全3回）会場：『本の学校』（米子市）、受講者：66名

「ISO無料相談会 - TEASからISOへ」

3月5日～6日（全2回）会場：本学、受講者：14名

* 『鳥取環境大学を支援する会』の寄付講座として実施

(1 0) 産学官連携

県産業振興機構、発明協会県支部、県産業技術センター等をメンバーとする「わかばだい連携倶楽部」ほか、連携推進のための会議・会合に本学研究交流委員等が参加した。

わかばだい連携倶楽部(6/30)

県生活環境部との意見交換会(7/16)

米子商議所との産学連携懇談会(7/26：米子)

支援する会総会(8/5) 幹事会(7/26)も有り

地域交流ネットワーク in 鳥取(9/18)

環境ビジネス交流会(10/8：大阪)

郡家町商工会との懇談会(11/1)

産学官連携フェスティバル(11/12：鳥大)

若手研究者・企業経営者のための知的財産セミナー(11/29：鳥取)

産学連携サミット(12/13：東京)

県産学官連携推進会議(2/16)

県弱電企業協同組合との懇談会(2/16)

鳥取市、鳥取商議所との産学官連携懇談会(2/22)

ほんまちクラブ(9/9:8名、 11/11:9名、 1/11:14名、 3/3:15名)

とっとり産業支援プラザ連絡協議会(3/17)

大学における知的財産戦略交流会議(3/24～25)

(1 1) 自己点検・評価

自己点検・評価報告書「鳥取環境大学の現状と課題」(編集：鳥取環境大学自己点検・評価専門委員会)を4月に発行した。

(1 2) 大学院の設置認可及び開設準備

平成17年4月開設を目指し、文部科学大臣あて設置認可申請及び寄附行為変更認可申請(文部科学省の事前相談、面接審査受審等を含む)を行った。また、大学院生研究室として利用するための講義室の改装および備品整備を行った。

6月30日付 設置認可申請及び寄附行為変更認可申請

11月30日付 設置認可及び寄附行為変更認可

(13) 教具、校具、情報システム及び図書の整備

ア 大学創設経費(大学開学当初の教具・校具等を年次に整備)

(単位 百万)

区分	13年度まで	14年度	15年度	16年度	全体計画	摘要
教具・校具等	1,953	171	188	188	2,500	情報システム開発機器の導入整備
図書整備	261	39	0	0	300	書籍、視聴覚教材の購入
計	2,214	210	188	188	2,800	

(14) 情報メディアセンターの運営

ア 資料整備実績(学部経常経費、大学院経常経費、教材費、研究費の合算)

図書 : 2712冊

視聴覚資料 : 56点

イ 開館日数 258日

ウ 来館者(学生・教職員・学外者を含む延べ人数) 128,874人

エ 貸出冊数(学生・教職員・学外者を含む図書貸出し延べ冊数) 13,841冊

オ 視聴覚貸出数(学生・教職員・学外者を含む視聴覚資料貸出し延べ点数。館内外を含む。)

3,092点

カ パソコン等情報機器貸出し件数 896回

キ 文献複写依頼件数 139件

ク 学生用パソコンの修理受付 521回

ケ パソコンヘルプデスク受付件数 2,001件

3 財務の概要

(1) 経年比較

【消費収支（金額単位：百万円（端数四捨五入）<>内は前年比%）】

科目	13年度	14年度	15年度	16年度
学生生徒等納付金	659	<59.8> 1,053	<31.9> 1,389	<20.4> 1,673
地方公共団体補助金	1,849	<-42.1> 1,070	<-43.1> 609	<-63.7> 221
その他	79	82	67	60
消費収入計（A）	2,587	<-21.1> 2,041	<1.2> 2,065	<-5.4> 1,954
人件費	701	<10.4> 774	<3.4> 800	<-0.1> 799
教育研究経費	665	<20.2> 799	<3.8> 829	<-1.0> 821
管理経費	279	<6.1> 296	<9.1> 323	<-12.7> 282
その他	0	3	5	3
消費支出計（B）	1,645	<13.8> 1,872	<4.5> 1,957	<-2.7> 1,905
（A）-（B）	942	<-82.1> 169	<-36.1> 108	<-54.6> 49

【貸借対照表（金額単位：百万円）】 建物等の有形固定資産が年々減少しているのは減価償却の為

土地	6,008	6,026	6,026	6,026
建物	7,603	7,354	7,071	6,795
教育研究用機器備品	682	584	471	355
図書	194	239	247	259
現預金・引当資産	1,877	2,551	2,988	3,521
その他	164	136	128	109
資産計	16,528	16,890	16,931	17,065
退職給与引当金	12	22	35	47
未払金	119	136	64	120
前受金	355	293	268	248
その他負債	10	20	7	7
基本金	15,057	15,275	15,306	15,342
翌年度繰越消費収入超過額	975	1,144	1,251	1,301
～ 計（＝）	16,528	16,890	16,931	17,065